

ダウンチ支援下前立腺全摘除術を受けられる方へ

患者ID

様

発行日:

		入院日	手術前日	当日手術前	当日手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目～6日目	術後7日目	術後8日目以降退院
		※日付を入力						～		
目標		□手術のオリエンテーションを受けた □呼吸訓練ができる	□手術の必要物品が準備できる □呼吸訓練ができる	□予定通りに手術に行くことができる □呼吸訓練ができる □禁飲食を守ることができる		□ベッド上で立位になることができる □食事が開始できる	□食事が5割以上摂取できる □歩行ができる	□食事が5割以上摂取できる □歩行ができる □38度以上の発熱がない □尿失禁対策の必要物品が準備できる	□尿失禁対策ができる	□退院できる
治療	身体に モニター類 の管や				<ul style="list-style-type: none"> 尿管 → 術後3日目～6日目 鼻の管 → 術後2日目 抜去 お腹の管 → 術後5日目 抜去 酸素吸入・心電図モニター → 術後2日目 終了 点滴 → 術後2日目 抜去 足のマッサージ(静脈血栓予防) → 歩行が開始できたら静脈血栓予防の機械を除去します 				膀胱造影撮影を行い、尿管を抜くことができるか確認します。抜けた場合は、排尿チェック表の記載を始めます	
	内服薬	常用薬を確認します	寝る前に下剤を2錠飲みます	指定した薬は、朝少量の水で内服します		指定した薬は内服を再開します		便が軟らかくなる薬を服用します。便の性状で調整します		
検査			(朝)採血			(朝)採血			(朝)採血・膀胱造影撮影	
測定		(1日1回)検温	(1日1回)検温	(朝)検温	(2時間毎)検温	(6～8時間毎)検温	(1日3回)検温	(1日1～2回)検温	(1日1回)検温	
日常生活	活動	特に制限はありませんので、体力維持のため散歩などをしてベッドかられてお過ごしください		離	基本的にベッド上安静です。身体の向きを変えられます	看護師と一緒に座ることから始めます。そして少しずつ行動範囲を広げていきます 体を動かすことは手術後の回復に大切です。積極的に歩きましょう				
	清潔	制限はありません	お腹の切毛とおへその処置をした後入浴あるいはシャワーを浴びてください		男性の方はひげを剃ってください 入れ歯をはずしてください	看護師が身体をお拭きします		お腹の管が抜けたらシャワー浴ができます		
	食事	制限はありません	夕食後から食べられません。水分の制限はありません	朝6時以降は飲んだり食べたりできません		朝から飲水できます 昼から食事が始まります				
説明	医師	担当医から手術の詳しい説明がありますので、ご家族も同席してください 手術までに麻酔科受診があります 質問があれば回診時にお尋ねいただくか、訪室した看護師にお尋ねください			ご家族に担当医から手術内容の説明があります	質問があれば回診時にお尋ねいただくか、訪室した看護師にお尋ねください				
	看護師	入院生活・手術前後の経過や必要物品について説明します 手術同意書、輸血同意書、麻酔同意書を看護師にお渡しください 手術後はお部屋を移動しますので荷物はまとめておいてください 持ち物は必要最低限とし、貴重品類はご自身で管理してください		手術後は集中治療室 GICUIに入ります (付き添いの方へ) 受信専用のPHSをお渡しします 手術終了までは在院ください 3階の家族控え室がありますが、院内でしたらどこにいても構いません	痛みが強い、痰が出せない、寝つけないなどつらいときは我慢せず、看護師にお伝えください	手術後1日目に元の病棟に戻ります 身体に入っている管類は引っ張ったり、踏んだりしないでください	(術後5日目頃) 尿管を抜いた後の尿漏れの対策について説明します		尿管を抜いた後、尿漏れの程度を確認します 尿管が抜けなかった場合は、尿管を入れたまま退院となるため、管理方法について説明します 退院後の生活について説明します	
呼吸訓練	呼吸訓練を行います				手術後の肺炎予防や、肺を広げるために呼吸訓練・深呼吸を行きましょう 点滴、お腹の管に注意しながら散歩を行ってください 深呼吸訓練機(コーチII)は目盛りに関係なく2～3時間おきに行ってください					